

県士会 ニュース

No.
216
[2022.8]



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents TOPIC 5 第5回神奈川県臨床作業療法大会 開催案内 地域を知り、人の生活を考える

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1 巻頭言 | 2 一般社団法人神奈川県作業療法士会 第9回社員総会議事録 |
| 3 福利部では40周年にあわせて、様々な企画を計画しています！ | 4 カナドラ！《県士会ニュース出張版》 |
| 4 公益法人格取得への道 | 5 各部からの報告 |
| 6 理事会議事録 | 7 2022年度4月度理事会 部員承認リスト |
| 8 2022年度一般社団法人神奈川県作業療法士会功労表彰者をご紹介します♪ | 8 事務局からのお願い |
| 8 編集後記 | |

巻頭言 | 地域に根差した作業療法の実践に向けて



大郷 和成

2019年度から神奈川県作業療法士会は「エリア化推進委員会」を発足し、作業療法士（OT）と県内の生活エリアにある関係機関等が連携し、地域住民のより良い生活・人生に向けた支援の実現化を目指しております。全国の士会が支部化やブロック化を進めている中、神奈川県作業療法士会では「エリア化」という言葉を選択致しました。これは、1つの組織を分断するような支部ブロック体制ではなく、互いのエリア同士の協力体制を軸とし、地域の声に対応しやすいエリア体制を築くことが、理想的且つ重要な地域に貢献できる一つであると考え、「エリア化」という表現に至りました。

現在、エリア化推進委員会では、①行政の窓口を確保、②県民への作業療法の啓発、③県士会公益事業の協力体制、④人材の発掘および育成、⑤会員ネットワークの構築、⑥参加しやすい県士会づくりの上記6つの目標を達成するために活動を進めております。①行政の窓口を確保、②県民への作業療法の啓発においては、地域活動にかかわる担

当理事で構成された地域活動支援ワーキンググループを発足しております。神奈川県と政令指定都市（横浜市、川崎市、相模原市）への担当理事配置や行政および地域住民への作業療法士活用の資料配布などを検討しております。③県士会公益事業の協力体制においては、今年度より「地域支援活動助成金事業」をスタートすることとなりました。この事業は、会員同士で実施する（している）地域支援活動を後押しするため、会員グループを対象に助成金を支給するものとなります。詳細は別途お伝えさせていただきたいと思っております。④人材の発掘および育成、⑤会員ネットワークの構築、⑥参加しやすい県士会づくりにおいては、まずは会員同士が気軽集える場が必要と考え、昨年度よりテーマで集えるOTコネクトミーティングを継続して行っております。県士会活動への参加障壁を少なくしたいと考え、個人の興味関心に合わせて気軽に参加できるように、テーマ別での場づくりを進めております。

エリア化を形にしていくなめには、県士会事業の効率化に向けてトップダウンで進めていくことと、会員主体による地域貢献活動推進に向けてボトムアップで進めていくことの両側面が必要であると実感しております。一方的な押し付けにならないよう、会員の皆様の声をいただきながら進めていきたいと考えております。今年度はOTコネクトミーティングに加えて、エリア化推進に向けた意見交換会の開催も予定しております。時間がかかり、また進展が見えづらい状況ではありますが、引き続き県民の皆さまのより良い生活・人生に向けて、ご理解ご協力をいただければ幸いです。

一般社団法人神奈川県作業療法士会 第9回社員総会議事録

令和4年(2022年)5月22日午前9時45分、神奈川県横浜市中区太田町4-45第一国際ビル301一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所において、一般社団法人神奈川県作業療法士会(以下、本会)第9回社員総会を開催した。

- ▶ 議決権のある正社員総数
(2022年5月22日現在の代議員総数) …… 77名
- ▶ 代議員の議決権の数(本会定款第40条より)
…………… 代議員総数の3分の1以上の出席
- ▶ 議場出席代議員数…………… 4名
- ▶ 議決権行使書数…………… 34名
- ▶ 委任状数…………… 35名
- ▶ 議決権の総数(出席者総数)…………… 69名

▶ 総会役員	議長	金山 桂
	議事運営委員(書記)	吉本 雅一
	議事録署名人	黒木 裕介 中井 琢哉

- ▶ 出席理事監事は次の通り

A 代表理事	神保 武則	B 理事	田中ゆかり
C 理事	金山 桂	D 理事	吉本 雅一
E 理事	玖島 弘規	F 理事	神田 崇央
G 理事	佐々木秀一	H 理事	奥原 孝幸
I 理事	佐藤 隼	J 理事	遠藤 陵晃
K 理事	野本 義則	L 理事	佐藤 範明
M 理事	戸塚香代子	N 理事	木村 修介
O 理事	澤口 勇	P 理事	望月 強併
Q 理事	西川 航平	R 理事	大郷 和成
S 監事	錠内 広之	T 監事	野々垣睦美

A～Fは一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所にて出席、H～Rは各自宅にてオンライン出席した。その他、選挙管理委員長池田公平氏が出席。

定刻になったので、吉本雅一事務局長は開会に先立って、オンラインによる開催におけるリアクションに関する協力について説明した。また議事録作成のみに利用する目的で録画を行うことを説明し会場の承認を得て録画を開始した。続いて選挙管理委員長池田公平氏より代議員選挙に関して、立候補、推薦候補を含めて定数の77名が今年度、来年度の代議員として選出されたことを報告した。

続いて議長団の選出に移り議長は金山桂氏が立候補により選任された。議長の議事進行により議事録署名人は黒木裕介氏、中井琢哉氏、議事運営委員は吉本雅一氏が立候補により選任された。

代表理事神保武則氏挨拶により社員総会の開会を宣

言し、第9回社員総会を開始した。続いて、議事運営委員吉本雅一氏より、総会成立及び総会議事運営案について以下のように提案し承認された。

I. 総会の成立

2022年5月22日現在の代議員総数は、(77名)、午前9時57分現在、代議員総数のうち(4名)が出席し、(73名)が欠席、議決権行使書が(34通)、委任状が(35通)であり、議決権の総数は(69通)で、総会開会の定足数、総会員総数の1/3以上を満たしており、本総会が成立していることを確認し報告された。

II. 議事運営案の提示

1. 本総会には、第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号議案の他には議案は提出されていない
2. 議案に関する質疑は事前に受け付けており当日の質疑応答は行わない
3. 第1号議案及び第2号議案は2021年度の事業及び決算報告であるので一括して説明・審議する
4. 第3号議案及び第4号議案は2022年度の事業及び予算報告であるので一括して説明・審議する
5. 総会には規程に関する議案が複数提出されているが第6号議案と第7号議案は関連しているため一括して説明・審議する
6. 社員総会はオンラインにより視聴が可能となっているため事前に代議員には視聴に関する同意書をもっている。その内容の順守を確認した。
7. 必要最低限の人数で開催しているため、書記は議事運営委員が兼務する

III. 第1号議案 2021年度(令和3年度)事業報告

2021年度(令和3年度)事業報告について田中ゆかり副会長より説明した。また事前に提出された甲本夏穂代議員、福留大輔代議員からの質疑について、担当理事の田中ゆかり氏、大郷和成氏より内容と回答を説明した。

採決:賛成69名、保留0名、反対0名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

IV. 第2号議案 決算報告ならびに監査報告

2021年度決算報告について、財務部担当理事の玖島弘規氏より説明した。事前に提出された福留大輔代議員からの質疑について、担当理事の佐々木秀一氏、遠藤陵晃氏より内容と回答を説明した。続いて監査結果について野々垣睦美監事より適正に執行されている旨の報告と引き続き適正な財務処理の継続について報告した。

採決:賛成69名、保留0名、反対0名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

V. 第3号議案 2022年度(令和4年度)事業計画(案)

2022年度(令和4年)事業計画(案)について神保武則会長より説明した。併せて日本作業療法士協会と協働連携して検討している『協会員=士会員』について説明し、会員の個人情報に関する共同利用に関する覚書に関して報告した。事前提出された甲本夏穂代議員、福留大輔代議員からの質疑について、担当理事の田中ゆかり氏、大郷和成氏、澤口勇氏より内容と回答を説明した。

採決:賛成67名、保留1名、反対1名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

VI. 第4号議案 2022年度(令和4年度)予算(案)

2022年度(令和4年度)予算(案)について、財務部担当理事の玖島弘規氏より説明した。事前提出された福留大輔代議員からの質疑について、担当理事の大郷和成氏より内容と回答を説明した。

採決:賛成68名、保留1名、反対0名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

VII. 第5号議案 定款の修正について

定款9条、第50条ならびに第54条の一部修正について神田崇央理事より説明した。質疑はなかった。採決の前に、定款の変更の場合、「第72条 本定款の変更には、総会において代議員総数の半数以上であって、代議員総数の4分の3以上の議決権を有する者の同意を得なければならない。」ことになっている。代議員の半数以上が議決権行使あるいは委任状を提出していることが確認され採決に移った。

採決:賛成69名、保留0名、反対0名、賛成4分の3以上と認め承認

VIII. 第6号議案 規程の廃止について

一般社団法人神奈川県作業療法士会代議員選挙規程と一般社団法人神奈川県作業療法士会役員選挙規程の廃止について神田崇央理事より説明した。質疑はなかった。

採決:賛成68名、保留1名、反対0名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

IX. 第7号議案 規程の制定について

一般社団法人神奈川県作業療法士会選挙管理規程の制定について神田崇央理事より説明した。事前提出された福留大輔代議員からの質疑について、担当理事の神田崇央氏より内容と回答を説明した。

採決:賛成69名、保留0名、反対0名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

X. 第8号議案 個人情報保護規程の修正について

一般社団法人神奈川県作業療法士会個人情報保護規程の一部修正について神田崇央理事より説明した。質疑はなかった。

採決:賛成69名、保留0名、反対0名、賛成多数(1/2以上)と認め承認

議長は以上をもって全議案が承認されたと宣言し議長団は解任となった。

議長団の解任後、福利部担当理事の金山桂氏により(一社)神奈川県作業療法士会の功労表彰を執り行った。今回は5名の正会員が受賞された。受賞者の長谷里恵氏よりご挨拶をいただいた。

次に昨年12月に開催された第18回神奈川県作業療法学会の学会長を務めた松田哲也氏を招待し初のオンライン学会として盛況に開催した功績に関して評した。松田哲也氏よりご挨拶をいただいた。

オンライン会議システムを用いた第9回社員総会は終始異常なく議題の審議を終了した。吉本雅一事務局長より代議員との連携を強化していくため、メーリングリストを作成し連絡や相談を行う旨を説明した。事務局長は閉会を宣言し午前11時30分閉会した。

また閉会後に40周年記念事業プロジェクトリーダーの田中ゆかり副会長より40周年記念ロゴマークの公表があった。また同じく田中ゆかり副会長の呼びかけにより、可能な代議員の方々の自己紹介を行いオンライン会議が終了した。

令和4年(2022年)5月22日

一般社団法人神奈川県作業療法士会第9回社員総会

議長 金山 桂

議事録署名人 黒木 裕介

議事録署名人 中井 琢哉

議事運営委員 吉本 雅一

※なお代議員からの質疑と回答と日本作業療法士協会から説明がありました個人情報に関する共同利用についてはホームページに資料を掲載しています。併せてご覧ください。

福利部では40周年にあわせて、様々な企画を計画しています！

その一つが、『この作業をしていると元気になる！！』写真コンクールです♪

会員の皆さまはもちろん、担当されている患者さまやご利用者さま、一般県民の方まで幅広く応募いただける写真コンクールです。楽器演奏やスポーツ、料理やお子さんとのふれあいなどその作業に取り組む方が「元気になる」作業の写真を募集します！募集要項の詳細はHPで案内予定です☆

(文責:福利部 金山)



神奈川県
自動車運転に関する
アンケートはこちら



ブログ版
カナドラは
こちら

制度対策部自動車運転班 渡邊 隼人

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」（下記QRコードよりブログチェックもお願いします！）の県士会ニュース出張版第7回です。今回は5月13日に施行された道路交通法改正に関して、特に関わる部分の紹介をさせていただきます。

今回の道路交通法改正では「高齢運転者対策の充実・強化」が図られており、①運転技能検査の導入②認知機能検査の見直し③高齢者講習の見直し④安全運転サポートカー限定条件付き免許の導入が大きなところではあります。

①運転技能検査の導入

75歳以上の高齢運転者のうち普通自動車対応免許の方が一定の違反行為（信号無視、通行区分違反等）をした場合に、免許更新時等に運転技能検査の受検が義務付けられるもの。検査項目は「指定速度での走行」「一時停止」「右折・左折」「信号機の通過」「段差乗り上げ」とされており、更新期間満了日の6ヵ月前から指定教習所等で受検する。

②認知機能検査の見直し

時計描画が廃止され「手がかり再生・時間の見当識」の2項目に変更。検査結果に関しても「認知症のおそ

れなし」「認知症のおそれがある」の2区分に変更。

③高齢者講習の見直し

認知機能検査の結果が2区分になったことに伴い、高齢者講習も2時間の講習（運転適性検査30分、講義30分、実車指導60分）に一元化。

④安全運転サポートカー限定条件付き免許の導入

安全運転支援装置を備えた「サポートカー」に限定する条件を普通免許に付与すること等を内容としたもの。後付けではない「衝突被害軽減ブレーキ（対車両・対歩行者）」、「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」が搭載された普通自動車のみ運転できる。この条件はその方の申請により付与され、限定解除には公安委員会の審査を受ける必要がある。

詳細は警察庁ホームページや神奈川県警ホームページ等をご確認ください。

高齢者を対象とした自動車運転免許関連の法改正をしっかり確認しつつ、正しい情報を支援の対象とする患者様・利用者様に提供できるようブログや県士会ニュースでもお伝えできればと思います。

公益法人格取得への道

【速報】

政府は本年度中に財団・社団等の既存の法人形態の改革を検討へ

公益法人化対策委員会 澤口 勇

政府は令和4年6月7日閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」及び「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」の中で「社会的課題を解決する経済社会システムの構築」を掲げ、「新たな法人形態のための法制度の必要性の有無について、新しい資本主義実現会議に場を設け、検討を行う」と共に「利便性向上の観点から、財団・社団等の既存の法人形態についても改革も検討する」と発表した。引き続き当委員会においても動向に注目していく。詳細は内閣府のHPをご参照下さい。

このような検討がなされる背景には、コロナ禍からの回復とウクライナ情勢の下でのマクロ経済運営の底上げ、人への投資と分配、民間による社会課題の解決に向けた取り組みを推進したい他、政府には様々な意向があると個人的には感じている。当会の特徴はいくつかあるが『作業を通じて人（国民）の生活を豊かにできる』職能集団の集まりであり、よって「共生社会づくり」への社会的貢献はかなりできるのではないかと考えている。今後は、法改正の動向を待たなければならぬが、この報告書を読むと「今後、社会的課題への取り組みは法人として必至」になるのではないかと感じた。会員の皆様にも一読をお願いする。

さて、今年も当委員会がプレ公益目的事業を主催し、事業化の実績を重ねていく。先日、部会の中で検討したが、第一弾は秋～冬にかけてとなる。コロナ禍での

感染拡大が厳しいのでオンライン開催を考えているが、内容は会員はじめ国民一人一人に共通する社会的課題から選んだ。

皆様、『障害者権利条約』という言葉をご存じだろうか。日本は2014年1月20日に国連で141番目の締約国・機関として批准した。言葉のまま読めば「障害者のための権利」に関する条文であることはわかるが、一見すると自分とは関係ないと感じるかもしれない。しかし交通事故で大けがをしたり、ウクライナでは戦争が行われ多くの負傷兵が出ているが、このご時世自分もいつ「障害者」になるかはわからない。年齢を重ねて高齢者になると若い時に越えられたちょっとした段差も越えられない。高齢者も障害者と呼んでも良いかもしれない。

締結を結んだあと、国連はその国に対して「実際に障害者の権利は守られているのか」という調査を国に対して行うが、コロナ禍となり、日本へ調査に入れずにいた。それがついに今年の8月～9月の予定で対日調査が行われるとの一報が入ってきた。

そこで当委員会としてはこの機会に「障害者権利条約」について改めて学び、OTとして果たす役割なども考える機会を設けることとした。企画は決まり、講演者にはこれから依頼するが、ぜひとも大勢の市民と会員の参加もお願いしたい。そして来春にはもう一つ企画を考えている。時期を迫ってご紹介する。

第5回神奈川県臨床作業療法大会 開催案内 「地域を知り、人の生活を考える」

実行委員長 佐藤 隼（さがみりハビリテーション病院）

第1次ベビーブームの時期に生まれ、日本の成長を牽引された「団塊の世代」の方々が、後期高齢者となる2025年の超高齢社会が目前に迫っております。そして、2060年には少子高齢化がさらに進んで、国内人口が8,000万人に減少すると言われております。このような人口動態の将来推計を踏まえて、厚生労働省や財務省では医療・介護・福祉に関する社会保障を見直すことが示唆されており、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『我が事・丸ごと』をキーワードとしてつながる「地域共生社会の実現」が喫緊の課題となっております。

そのような中で、人の健康と幸福に寄与する作業療法士の私たちは、地域で生じている課題や有益な社会資源を把握することができているのでしょうか。作業療法の業界では身体障害や精神障害、発達障害といった領域別の視点で対象者を捉えがちですが、これからの社会においてはすべての対象を「生活者」として視ることが求められます。それに向けて私たち自身が「地域」というステージで起こっていることに興味を持ち、個々の生活をより良くするためにそれぞれの「地域」をもっと知る必要があるかと思えます。

12月11日開催の第5回神奈川県臨床作業療法大会は、『共生社会と作業療法』をテーマとして、「地域」にまつわる様々な情報を発信していきます。自動車運転や就労を中

心とする地域生活支援で作業療法士ができることや多職種連携から考える作業療法士の役割についてのシンポジウム、市民の健康促進に向けた行政ニーズと県土会組織がコラボレーションした横浜市の取り組みなど、すでに県内で展開されている作業療法実践の報告を聴講できるプログラムを企画しております。県民公開講座では「認知症とともに生きるということ」について認知症の専門医にご講演いただくことが決定しており、作業療法士だけでなく一般の方、他職種の方、学生の方など誰でも参加できる形式として、県民のみなんで共生社会や作業療法について共感し合う機会になればと考えております。

神奈川県作業療法士会設立から40周年を迎えるこの記念の年に、作業療法士の役割や作業療法の意味を改めて分かち合いましょう。国民の誰もがその人らしく生き生きと暮らすことができる地域共生社会の将来に向けて、個々の生活行為を包括的に捉える私たち作業療法士ができることをこの機会に考えてみませんか。詳細は大会ホームページで順次アップデートしていきます。本紙とともに大会案内のチラシも同封させていただきます。会員の皆さまもお近くの方をお誘いいただき、たくさん参加者による盛大なオンライン大会になればと願っております。

各部からの報告

▶ウェブサイト管理委員会 県土会サイト紹介&研修会情報・求人情報案内

(文責 ウェブサイト管理委員会 佐藤 範明)

県土会サイトは「みて役立つ！すぐ役立つ！まずはクリック！県土会サイト」のキャッチフレーズのもと、いつでも・だれでも・どこでも、県土会情報・作業療法にまつわる情報を閲覧できる県土会データベースとして整備をしています。

県土会のお知らせをはじめ、日々の臨床等にも役立つコンテンツも豊富です。また、県土会サイトでは神奈川県内の求人情報、神奈川県内外の研修会情報

の発信を行っており、メーリングリスト・Twitter・Facebookを登録することで更新情報をいち早く受取ることが可能です。

以下のQRコードから各種メディアの登録が行えます。

ウェブサイト管理委員会としても皆様にとって役に立つ県土会サイトの運営に努めてまいります。是非ご活用いただければ幸いです。

図) 研修会カレンダー活用方法 (スマホ Ver.)

図) 研修会カレンダー活用方法 (スマホ Ver.)

各種メディア
県土会発信情報受取 QR コード

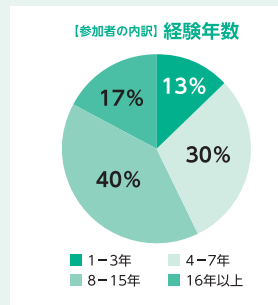
- 電子メール (メールマガジン) Kanaからの手紙
- Twitter
- Facebook

▶ 学術部 (文責：学術部 上野)

2022年度最初の学術部主催のスキルアップ研修会は、『作業療法実践のコツ—急性期病院の病態把握とリスク管理を回復期や維持にも活かそう—』を開催しました！

今回の研修会は、聖マリアンナ医科大学病院の集中治療域に従事されている佐々木祥太郎先生より、最新の知見を基に病態把握やリスク管理の方法について講義して頂きました！

病態把握とリスク管理にあたって、「By system」の考え方に合わせてご講義頂きました。神経・循環・呼吸・消化器・栄養などの視点から全身状態を把握し、その上で行うべきリスク管理方法について、ポイント



を絞って分かりやすく説明して頂きました。中でも脳卒中や肺血栓塞栓症など、リハビリスタッフとして関わる機会が多い疾患について掘り下げて説明して頂き、回復期・維持期などの病期を問わず、かなり身近に感じる内容でした。

講師の佐々木先生、そして参加者の皆様におかれましては誠にありがとうございました！

次回のスキルアップ研修会です！

- 【テーマ】作業療法士としての評価と介入の構え
専門職としての成長
- 【日時】2022年6月12日(日) 10:00～
- 【会場】Zoomによるオンライン研修
- 【講師】湘南慶育病院 リハビリテーション部
科長 丸山 祥 先生
「作業療法のちょっとしたコツ」や「若手療法士が

陥りやすい障害」などについて、クリニカルリーズニングや臨床教育等の研究をされている丸山先生にご講義頂ける事になりました。

若手の方はもちろんのこと、自身の実践や若手の教育についてじっくり考える時間がない中堅の方まで、ぜひご参加ください！

2022年度も様々なスキルアップ研修を開催していきたいと思っております！皆様のご参加をお待ちしております！

▶ 制度対策部災害対策事業班 (文責：宮田 和典)

大規模災害を想定した 安否確認のシミュレーション訓練のお知らせ

毎年、日本作業療法士協会と連携しながら実施している大規模災害を想定した安否確認シミュレーション訓練を今年も開催される予定です。訓練時期などの詳細については決まり次第、県士会のホームページに掲載

致しますのでご確認をお願いします。また、安否確認シミュレーション訓練は自然災害時に役立つ平時からの取り組みの一つとなりますので、ぜひ多くの方に参加して頂けたらと思います。ご協力をよろしくお願い致します。

理事会議事録

★ 2022年度第1回理事会 議事録 2022.4.21

日時：2022年4月21日(木) 19:00～21:21

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成(17名)

欠席理事：戸塚香代子(1名)

出席監事：錠内広之、野々垣睦美(2名)

その他出席：池田公平(選挙管理委員会 委員長)

I. 会長より挨拶

今年度初めの理事会となります。より円滑な県士会の運営を行うために今回から2部構成として組織改編についての意見交換を行ってまいります。代議員選挙結果についても池田選挙管理委員長より報告をいただきます。

II. 報告事項について

【トピックス】

- 選挙管理委員会 池田選挙管理委員長より
 - 代議員選挙 推薦候補者数の報告

4月21日現在でA・Bブロックともに定員数77名を満たす代議員候補者が集まり決定した。第9回社員総会の場でも報告し、県士会ニュースでも報告する。

III. 審議事項について

- 後援名義使用について(事務局)
 - 日本ケアマネジメント学会第21回研究大会→承認
 - 神奈川県保険医協会 第30回在宅医療・介護セミナーについての後援名義使用・PR協力 →承認
- 新入会員の承認について(事務局) →承認
- 部員・委員の承認について(事務局) →承認
- 地域リハビリテーション部 一部事業計画の変更について →確認承認
2021年度特別支援学級研修会が講師の予定等のため実施できなかった。2022年度に1回分を追加して計2回実施する。予算は予算案通りで変更増額はしない。
- 2021年度の会計処理について(財務部、学術部、教育部、学会評議委員会) →2022年度計上確認承認
 - 学術部：ソフトウェア購入消費税の未計上
 - 教育部：謝金振り込みの振込手数料の未計上
 - 学会評議委員会：2021年度予算不足分
※期末監査にて監事より確認承認

IV. 報告事項について(各部署・理事)

【各部署】

- 事務局 第9回社員総会について
議案書は今月中に郵送予定。県士会ホームページにも公表

する。代議員から質問・意見を5月13日締め切りで募る。理事・役員に共有し、担当部署により回答を作成し事前に回答する。総会当日も質問内容を公表し説明する。

2. 財務部・監事

(1) 期末監査について

4月9日(土)実施。執行に関する不正や法令もしくは定款に対する違反する重大事項は認めなかった。

(2) 2022年度会計説明会

会計処理に関する理解をより深め適正な手続きを行うために改めて開催する予定。

3. 学会評議委員会

(1) 第5回神奈川県臨床作業療法大会

ア) コンセプト

○地域と作業療法をつなぐ大会としたい

○地域共生社会の実現に向けた作業療法の理解を促進、活動を紹介

○県民や地域住民たちとの距離を縮める機会にする

イ) プログラム(企画中) ⇒口述発表なし、すべての講演を県民参加型とする

エ) 日時・会場

日程: 2022年12月11日(日) 10:00~16:30

開催方法: オンライン開催(ZOOMによる)

オ) 広報 県士会ニュースにて随時大会長あいさつやプログラム、参加方法などを広報する。

カ) 抄録 ウェブ開催ということもあり、PDFダウンロードによるペーパーレス化を検討中。

ケ) 大会長より 地域共生社会を推進していくために当会として将来構造を会員や県民に知っていただく機会としていきたい。40周年記念事業としても意識しながら会員が能動的に参加できる仕組みを多角的に検討してい

4. 福利部 社員総会で表彰式を実施する予定

5. 規約委員会 ホームページに諸規程を掲載

6. 学術部 学術誌をJ-stageへ掲載するポリシーを規約委員会と協働して準備中。

【理事】

1. 田中理事 40周年記念プロジェクトチームより

(1) ロゴマークの説明と投票

3点応募があり概要を説明。理事役員による投票を行い案2が多数により決定。公表後より使用可能。

2. 大郷理事 渉外報告

教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会について出席報告。神奈川県は他県に比べて先駆的に教育領域への作業療法士の採用と活用がなされている。子ども委員会など設置の必要性を感じた。

3. 遠藤理事・神保会長・吉本事務局長

(1) 横浜YMCA学院専門学校2023年度募集停止について

2023年度から新規学生募集を停止し今後閉校する方針となった。非常に残念なお知らせではあるが県士会としても現在所属する学生が無事に巣立っていけるように支援を続けていきたい。当会としても小中高生への作業療法のPRを行っていく必要性を強く感じている。広報部の活動のみならず県士会全体で将来の作業療法士を育てていくことを重要な活動として位置付けていきたい。

4. 木村理事

Peatix運用方法について共有依頼

→金山副会長より 改めて理事会に詳細資料を配信し共有周

知する。当該部署については確認する場を設ける。

V. 組織改編

1. 神保会長より 県士会組織図・体制の見直しについて概要と役員意見の集約、意見交換についての進め方を説明。任期を意識して、現理事体制任期内における組織改編の議論は以下の議論進行と優先事項に整理する。

①次体制に継承を意識した検討と議論(議論進行)

②組織改編の土台作り・枠組み作り(優先事項:コンセプト)

③県士会の方向性共有と決定(優先事項:重点課題/未来予想図)

④理事・役員の役割(優先事項:組織内部詳細決定)

2. 意見交換会の方法について

ブレイクアウトルームを使用し①総論県士会組織体制について②総論タイムスケジュールについて③各論理事・役員の役割について④各論部署等の各論のテーマに分けて意見交換。

3. 意見交換・共有

4グループに分かれ意見交換を実施。司会進行、書記、発表者を決めて、全体会で各グループの内容を共有した。理事会で意見交換シートを共有し今後の意見交換にも活用する。

4. まとめ

(1) 神保会長 小グループに分かれて話し合いを行ったことで活発に意見交換ができた。100%を目指すのではなく、フレキシブルに県士会運営の土台構築を進めみなさんと共有していきたい。今後もメールやヒアリングの場も活用しながら活発に意見交換を継続する。

(2) 田中副会長 ざっくばらんに話し合える機会が少ないので今回はこの場を活用出来たようであり有意義であった。一人一人の意見を出し合う事を継続することで理事役員が纏まり組織改編に近づくのではないかと感じた。

(3) 金山副会長 みなさんと意見交換をする中で三役として意図して伝えたことが役員内に正確に共有出来ていないことに気が付かされた。理事役員内での話し合いを継続し理解を深めていく工程が、理事会と正会員の距離が近づくことになることを実感した。

(4) 吉本事務局長 初めての試みであり時間が短くなってしまったが役員全員の協力があり有意義な話し合いができたことに感謝している。

VI. その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、佐々木理事、野本理事。

2. 監事より

(1) 錠内監事 組織改編についてはその意味をどのように捉えるかも大切だと思います。今回は非常に良い話し合いだったと思いますが、ボトムアップでこのまま話し合いを進めるのか、たたき台を作りトップダウンにて進めるのか、今後の検討が必要と感じました。また意見交換の場に監事を含めるのかも検討の余地があるかと思っています。内容に関しては、組織改編だけでなく運営方法にまで議論が及んでしまうと、県士会組織そのものの在り方まで話し合うことにあるのではないかと思いますので、一定の線引きも必要と感じました。

(2) 野々垣監事 対面して話し合うことがなかなかできない中、小グループで個々人の具体的な意見を話し合うことが出来る機会だったと思いました。この話し合いをどのように進めていくか、メンバー構成について今後検討が必要だと思いました。引き続きよろしくお願います。

以上(文責:事務局長 吉本 雅一)

2022年度4月度理事会 部員承認リスト

【学術部】

上野 和歌子 北里大学病院

【認知症対策委員会】

小河原 格也 神奈川県立保健医療福祉大学
リハビリテーション学科

【広報部】

鈴木 千晶 JCHO 湯河原病院

鈴木 北斗 社会医療法人ジャパンメディカル
アライアンス 座間総合病院

長谷川 春香 JCHO 湯河原病院



2022年度一般社団法人神奈川県作業療法士会 功労表彰者をご紹介します♪



功労表彰は神奈川県作業療法士会の会員が通算 25 年以上あり、その間に当会役員や部員として通算 4 年以上ご尽力いただいた方が選ばれます。2022 年度の功労表彰者は以下の方々となりました！！

安部 剛央 氏 笹森 郁子 氏 島崎 容子 氏 田中 桃枝 氏 長谷 里恵 氏 ※順不同

5 月 22 日の総会で表彰された先生方のご紹介と出席くださった長谷里恵先生からご挨拶をいただきました！表彰状と記念品をお送りする予定です♪表彰された皆さま、当士会の発展のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。
(文責：福利部 金山)

事務局からの お願い

- **届出内容を変更される方** 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール (kaiin@kana-ot.jp) にてご提出願います。(随時受付)
- **休会される方** 来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**(末日消印有効)までに ①『休会届』と ②『証明書』を郵送でご提出願います (**FAX不可**)。
- **退会される方** 年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール (kaiin@kana-ot.jp) にてご提出願います (**上記日必着**)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

編集 後記

今年の夏は早く訪れそうな予感ですね。このニュースが皆様のお手元に届く頃には梅雨も明けて本格的な夏が到来していることでしょう。私は向日葵を育てていますがもう直ぐ花開きそうです。とても楽しみにしています。
(難波のロッペン)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (216号) 2022年8月発行(年3回発行)

発行責任者 神保 武則
 編集責任者 佐藤 隼
 編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
 山岡 洸(湘南慶育病院)／佐藤 愛(悠の木株式会社)／安田 優子(横浜旭中央総合病院)
 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)／松井 洋鷹(渚野辺総合病院)
 碓屋 瑛理(佐藤病院)／岩居 洋輝(佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所
 事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
 TEL/FAX：045-663-5997
 月火水木金 10：00～15：00
 メールアドレス：jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト
<https://kana-ot.jp> ➔ 作業療法 神奈川県 検索 
 Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>
 Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>